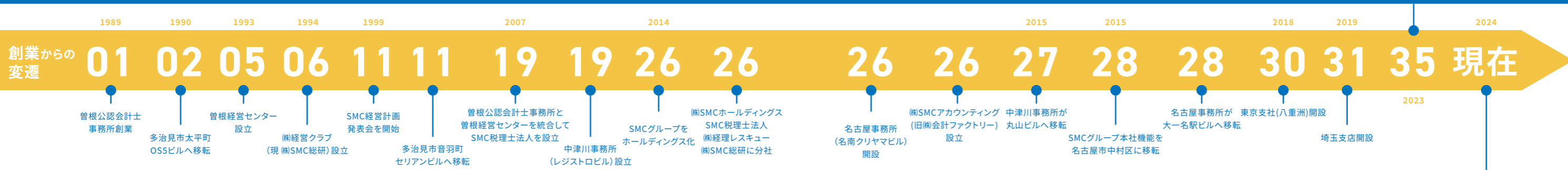


中小企業応援団

2023年の目標の振り返り

<p>SMCグループ年間休日 01</p> <p>目標通り120日の休日を設定し、6月～11月に選択休日を設定させていただきました。 2024年も同様に120日と設定させていただきます。繁忙期の代替出勤で昨年度同様に選択休日を設定します。 ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。</p>	<p>みなし残業の廃止 02</p> <p>みなし残業の廃止により、労働分配率が想定通り3%ほど上昇しました。 残業時間の意識を向上することができたため、平均残業時間は5時間ほど下がりました。 ただ、特定の社員への負荷があるため、若手人材の即戦力化が引き続きの課題です。</p>	<p>SMC アカウンティング 03</p> <p>積極的に採用に動き、5名を新たに採用しました。給料計算、請求管理等、経理業務の依頼も徐々に増え、ある程度計画通りの数字です。 お客様のニーズを深掘りしたところ、よりDX化の要望の高まりを感じました。</p>	<p>M & A 04</p> <p>昨年も数件のM & Aが発生し、売りも買いも発生しました。ただ、仲介会社は最低手数料が2000万円以上であるため、それ以上の純資産が収益性がないと売却は難しいです。 企業を大きくさせること。ともにスモールM&Aの対応もする必要があります。弊社ではストライク、M&Aセンターと提携しておりますが、スモールM&Aの対応先とも提携し、M&Aの支援をします。</p>	<p>研修チームの設置 05</p> <p>新卒用に一定のレベルまでまとめて研修する形を実践しました。 2点の課題ができました。 教える側の能力に依存してしまうため、新年度以降もこのシステムを継続するのが困難なこと。新卒側も2か月程で習得できる者、半年経過しても習得が難しい者と差がでてしまいました。当然、研修は仕事を覚えるきっかけにすぎず社員自身の頑張り(その方向性)による部分もあります。 2点の課題+社員の自助努力は引き続き課題です。</p>	<p>複雑化する税制改正への対応 06</p> <p>①インボイス ギリギリまで国税の見解が微調整され続け、10月以降もQ&Aが更新されるという非常に不安定なものとなりました。SMCでは、お客様と協力し、インボイスリストを作成し、網羅的に税務署に対応するという形に落ち着きました。税務署に問い合わせでも、まだどのように調査するかは未定とのこと。 ②電子帳簿保存法 2024年1月からスタートします。ダウンロードするデータ、メールで送受信するデータなどはデータ(主にはPDF)でフォルダに保管するよう義務付ける制度です。こちらもスタート後も引き続きQ&Aが更新が予想されるため要注意です。 ③増税への対応 昨年は「増税メガネ」というあだ名が付いてしまうほど、増税基調が強かったです。所得制限ありの低額減税?という訳が分からない制度も出てしまい、簡素、公平、中立であるべき税制が真逆の方向に進んでおり、非常に複雑化しています。 知らない点と損をする。日本の税制が歪められています。</p>	<p>情報管理体制について 07</p> <p>情報流出防止のための弊社の情報管理体制に関しては、昨年に引き続き専任の社内SE(システムエンジニア)を配置し、下記システムを用いて情報管理に努めております。 シンクライアントシステム...サーバーを外部管理委託(CTC中部テレコミュニケーション社)しております。 SKYSEA Client View...勤務形態の多様化に対応し、Sky社にてパソコンの遠隔管理を導入しております。各端末のセキュリティ対策も徹底しております。 BLUESphere...アイロバ社によるwebサイト対策強化 https://bluesphere.jp/</p>	<p>全体感 08</p> <p>お客様の数字を拝見すると8割は昨対比で業績悪化です。 売上は増加しても利益率が悪化しています。円安、最低賃金の上昇、物価上昇...。 逆に好調な企業は海外取引に絡む企業(主に輸出)や、ITに絡む企業でした。2024年に急激な円高が起きない限り物価高は収まらないと思います。コスト意識の徹底と収益構造の改善は常に意識したいです。</p>
--	--	--	---	---	---	--	---



2024年の取り組み

<p>SMCグループ代表変更 01</p> <p>SMCグループは2024年1月1日をもって、当社代表者を変更し、新代表理事として西川正起が就任いたしました。 組織体制も一新しました。お客様には事業承継の難しさ、大事さを相談させていただく立場でありながら、いざ自社のこととなると簡単にはいかないものと感じます。弊社理念「お客様と共に成長し、創業100年企業を創出する」を念頭にお客様に貢献します。</p>	<p>名古屋第2事務所国際センタービル移転 02</p> <p>名古屋第2事務所を国際センタービルに移転します。 本社ビルはそのままであるため、お客様の来社は今までどおり、本社にて対応します。税理士法人の社員は国際センタービルに移動予定であるため、書類の送付等は国際センタービルにお願いする予定です。 4月中旬引越予定で。</p>	<p>お客様のDX化に向けて 03</p> <p>SMCアカウンティングを中心にお客様へのDX化、具体的には経理のIT化、自動化を進めます。IT補助金を利用して導入することが可能であるため、お客様の初期負担も減らすことが可能です。 経理の採用も難しいと言われる昨今ですが、どんどんIT化を進め、企業が本来進めなければいけない営業及び製造などの付加価値業務へ集中できるようお手伝いします。</p>	<p>税制への対応 04</p> <p>2023年の「今年の漢字が税」であるように、今まで以上に税を学び、変化をしなければいけない一年になりそうです。 例年、我々税理士がしっかりと対応すれば済んでいた部分もありますが、インボイス、電子帳簿保存法など、お客様自身で対応いただく部分も増え、果たして生産性が上がるのだろうか?と疑問に思う部分もありますが、これを機にDX化を進めていきたいと思います。</p>
---	--	--	--

2024年 明けましておめでとうございます。

皆様のご健勝と貴社のご清栄をお祈り申し上げますとともに、
本年も旧年と変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。





西川 正起

一般社団法人 SMC ホールディングス 代表理事
SMC 税理士法人 名古屋本社 代表

明けましておめでとうございます。
SMC グループの代表に就任させていただきました。SMC 税理士法人の西川正起（にしかわまさき）と申します。
1981 年生まれです。SMC グループには新卒で入社し、一度退職はしたものの、戻らせていただきました。数年前より、曾根から後継者として指名を受け、人事、営業等ある程度のことを任されておりましたが、企業のトップとなると、責任の重さが違うなとヒシヒシと感じております。二代目として最初に徹底することは、弊社

理念の「お客様と共に成長し、創業 100 年企業を創出する」を共有し続けることです。そのためには、成長＝研修等で学ぶだけでなく、仕事の期限・質を磨くことを念頭に置きます。また、SMC グループは様々な組織で多様な商品を展開しております。お客様が求めていることに共感し、SMC ならではの解釈により発展させてきた結果だと思っております。今後も新たな商品を展開し、SMC グループ一同、お客様の発展に貢献したいと思っております。



船田 卓

SMC 税理士法人 東京事務所 代表

明けましておめでとうございます。
旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。
昨年は新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが「五類」に移行しようやく落ち着きましたが、急激な円安や物価の高騰、海外情勢の変化、インボイス制度のスタートなど多数の変化がありました。

変化の流れに対応することがより一層求められる中、弊社としましては、お客様の税務、資金、労務、マーケティングなどのお力になれるよう、よりいっそう業務に進進する所存でございます。
本年も変わらぬご愛顧のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。



長縄 龍哉

SMC 税理士法人 多治見事務所 代表

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。
昨年 1 月に名古屋事務所から多治見事務所へ異動し、あっという間に 1 年が過ぎました。多くのお客様との出会いがあり、経営支援に携わることができました。
振り返ると昨年 2023 年 10 月からインボイス制度が

スタート。今年 2024 年 1 月からは、電子帳簿保存の電子取引データ保存義務がスタートします。大きな制度改正が矢継ぎ早に始まっております。お客様の課題解決にお役に立ちできるよう、貢献できるように SMC グループも成長してまいります。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



岡本 英樹

SMC 税理士法人 中津川事務所 代表

新年あけましておめでとうございます。
2023 年は、コロナ騒動の収束や円安の加速、物価の上昇などによって新たな課題に直面した企業が少なくありませんでした。様々な要素が経営に影響を与えますが、どんな状況であれ企業とステークホルダーが良い状態を維持し持続するためには、個々の企業が競争力のある健全な経営をすることが必要と

なります。
2024 年も国内外のリスク要因や市場の変動などが予想されますが、その中でもチャンスは必ずあると信じ、私達 SMC グループはお客様の経営の安定・成長をサポートするために全力で取り組んでまいります。今年も皆様と共に成長し、良い年になることを心より願っております。



小川 弘郎

株式会社 SMC 総研 代表取締役

あけましておめでとうございます。
世の中の状況変化が加速度的に早くなっていく近年において中小企業の皆様が抱える経営課題も多様化・複雑化していく傾向にあります。大企業に比べて経営資源に限られる中小企業においてはその経営課題を自社単独の力で解決し続けていくことが難しい場合もあろうかと思っております。そのような企業様の

ために SMC 総研では先行経営、資金調達（融資、補助金）、資金繰り、保険、401k を始めとした様々な経営支援メニューを提供し、課題解決と企業成長を徹底サポートしています。皆様に寄り添った伴走支援で 2024 年も今まで以上に「中小企業の皆様に良くする」サポートを行って参ります。本年もよろしくお願いたします。



国枝 浩司

株式会社 SMC アカウンティング 代表取締役

新年あけましておめでとうございます。
令和 5 年、中小企業の取り巻く状況は益々厳しさを増しています。特に、人材不足や法制対応などの課題は依然として続いており、私たち経理事務代行企業としても、これらの問題に一層の対応を求められています。
そのためにも経理 DX への取り組みはますます重要

となっております。デジタル化や IT 技術の活用が、効率的な業務遂行と直結する現状です。
私たちは経理 DX の進化に伴い、常に最新の技術と知識を身に付けお客様の改革を支える存在として、お客様の経営に貢献できるよう全力を尽くしてまいります。



吉本 昌史

株式会社 SMC マーケティング 代表取締役

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
SMC のミッションである 100 年企業を創出し続けるために、「企業成長」をキーワードとした場合、「マーケティング（売上設計）」と「人（人材採用・教育）」が重要ポイントになると考えています。2024 年の更なる環境変化に対応し、ここに資金と労力をかけ、

チャレンジしていける企業が勝ち残っていける時代です。事実、既に WEB マーケティングの強化に取り組まれて、成長し続けている企業様も多く存在します。SMC マーケティングは、皆様の目標達成のために最大限サポートし、ともに成長して参ります。マーケティングの課題解決のために、是非一度ご相談ください！



山口 剛志

社会保険労務士法人 絆 代表

新春の候、皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。
さて、2024 年の人事労務分野の課題は、高齢化や生産年齢人口の減少に伴い人材採用はより一層困難となり、また「運送業・建設業・医師」はもとより、全業種においてなお一層の残業時間の短縮が求められます。その為企業はより労働条件を向上させ（脱

ブラック）、人を増やすことなく利益を拡大する為に、AI 化や効率的な業務プロセスの構築など、組織全体の生産性向上を最優先で推し進めることが必須となるでしょう。
2024 年は、これらの課題に積極的に取り組み、企業の持続的な成長を図る年となることを心から願っております。是非、お気軽に御相談ください。